

[itmedia.co.jp](https://www.itmedia.co.jp)

証券コード残りわずか アルファベット組み入れを前倒しへ 24年1月から

[ITmedia]

全国の証券取引所などで構成する証券コード協議会は5月31日、2024年1月1日以降に新たに設定する証券コードから、英文字の組み入れを実施すると発表した。認定可能な残コード数の減少に対応する。



証券コード協議会は証券コードへの英文字の組み入れを前倒して実施すると発表

証券コードは、日本の証券取引所に上場する企業に対し、識別のために協議会が付与している4けたの番号。現在は「1300」から「9999」までの数字となっている。

証券コードの減少に対応するため、協議会は09年、枯渇後に証券コードに英文字を組み入れると発表していたが、21年末時点のコード残数は1522となり、枯渇が目前に迫っていた。

「コードの枯渇で上場ができなかったという事態は絶対に避けなければならない」（協会事務局担当者）として、今回、英文字の組み入れ時期の前倒しを決定。24年1月1日以降に設定する証券コードから組み入れを実施することにした。

英文字と数字どう組み合わせる？

英文字は、証券コードの先頭から2けた目と4けた目のいずれか、または両方に使用する

(例:9A76、987A、9A7A)。

英大文字のうち、「B」「E」「I」「O」「Q」「V」「Z」--を除く19文字を使用する。「B」は数字の8と形が似ているほか、「Q」は数字の9と音が似ている。こうした見間違いや聞き間違いを防ぐための措置だとしている。

すでに上場している企業や、23年12月31日までに設定済みの証券コードに変更はない。また、国債、地方債、特殊債等の固有名コードには、引き続き数字のみを使用する。

証券コードへの英文字組み入れの実施時期の決定について
(「株式及び公社債銘柄コードの設定、変更及び削除に関する取扱い要領」の一部改正)

2022年5月31日
証券コード協議会

当協議会は、一般事業会社等に付番する固有名コード（「1300」から「9999」までの数字4けた）の設定可能な残コード数減少への対応として、2009年4月に固有名コード枯渇後に証券コードに英文字を組み入れるとの基本方針を、2010年3月にその具体的な設定方法を公表し、証券コードの利用者各位にシステム改修等、所要の対応をお願いしてまいりました。

近年進行する残コード数の減少を踏まえ、英文字組み入れを円滑に実施する観点から、今般、固有名コードが枯渇する前であっても、2024年1月1日以降に新たに設定するコードから英文字組み入れを実施することとし、「株式及び公社債銘柄コードの設定、変更及び削除に関する取扱い要領」の一部改正を行います。(別紙1、2及び参考資料参照)

当該コードは発注から清算・決済に至る証券実務において、個人投資家を含む市場利用者に幅広く活用されていることから、証券コードの利用者各位におかれましては、円滑な英文字組み入れの実施に向け、システム改修の他、業務フローの点検、自社内や関係先への情報周知などの対応に御協力くださいますようお願い申し上げます。

証券コード協議会が発表した資料より

Copyright © ITmedia, Inc. All Rights Reserved.